

## 2/15 市民二人の受賞を報告 熊本県身体障がい者歌謡祭大会

第27回熊本県身体障がい者歌謡祭大会は2月3日、熊本市で開催され、本市から出場した松原行男さん（泗水町吉富）が最優秀県身障連会長賞、山東範雄さん（七城町清水）がNHK熊本放送局賞を受賞しました。菊池市身体障がい者福祉協議会の黒田章会長とともに福村市長へ報告に訪れた二人は、「歌は大好きです。ぼけ防止に良いと思います」（松原さん）、「歌は、仕事を頑張ったあと夜若い連中と歌うのが楽しみ」（山東さん）と笑顔で話しました。



受賞した松原さん（左前）と山東さん（右前）。黒田会長（後右）とともに福村市長へ受賞を報告しました

## 2/14 文房具を スリランカの子どもたちへ

市内5つの中学校で、まだ使える文房具をスリランカの子どもたちのために集める活動が行われました。旭志中学校の生徒集会で贈呈式が行われ、生徒会長の水上雅晴さんが「スリランカの子どもたちの役に立ててください」と菊池国際交流協会の茅嶋祐一副会長に集めた文房具を託しました。1月からJICAボランティアとしてスリランカへ赴任している同協会会員の木村牧子さんの協力により、3月に現地のボランティア団体へ届けられました。



旭志中学校生徒会長の水上さんが茅嶋副会長へ文房具を託しました

## 2/10 高齢者と子どものふれあい食事会

高齢者と子どものふれあい食事会は、迫間支館で行われ、地元の高齢者の皆さんと菊池さくら保育園の園児25人が参加しました。この食事会は、食をとおして地域の絆を大切にしておもらおうと、熊本県地域食育モデル事業として熊本県栄養士会が企画したものです。同会の会員18人が、ゴボウやシイタケなど地元の食材を調理。高齢者と園児たちがおにぎりや団子づくりを手伝い、できあがった料理と一緒に食べながら、楽しいひと時を過ごしました。



1,2\_ 地元の高齢者と一緒におにぎりをつくる子どもたち / 3\_ 団子汁や鶏肉の揚げおろし煮など全員で食べました

## 2/5 菊池ジュニア男子クラブが初優勝! 小学生新人バレーボール大会

第21回TKUカップ熊本県小学生新人バレーボール大会は、山鹿市鹿本体育館で開催されました。本大会には県内から12チームが参加。本市から出場した菊池ジュニア男子バレーボールクラブは、初戦から順調に勝ち続け、勢いそのまま優勝を勝ち取りました。主将の河上太志くん（隈府小6年）は、「優勝できてとてもうれしいです。これからも練習を頑張ります」と笑顔を見せました。



初優勝を飾った菊池ジュニア男子バレーボールクラブの皆さん

## 2/18 平成23年度菊池市ボランティア 連絡協議会交流会

平成23年度菊池市ボランティア連絡協議会交流会は、菊池市文化会館で開催されました。第1部では、第42普通科連隊の渡辺敦さんによる講演が行われ、自衛隊が東日本大震災で行った支援活動などの話がありました。第2部では、鹿本高校1年生の芥川優未さんが「今、私にできること」と題し、タイへの家族旅行で感じた厳しい生活環境のこと、そしてそれを支援するために青年海外協力隊に参加する目標を持ったことなどの発表がありました。



1\_ 発表した芥川さん / 2\_ 自衛隊の災害復旧支援活動について説明する渡辺さん / 3\_ 同協議会会員による発表会もありました

## 2/18 認知症サポーター活動推進で 本市が全国表彰

認知症サポーター300万人達成報告会は、東京都永田町で開催され、全国から本市を含む3自治体1法人が認知症サポーター活動推進に貢献したとして表彰されました。本市の受賞は、市民、学校や認知症支援の各種ボランティアの皆さんなどのサポーターの優れた活動と、地域での見守り体制の構築が評価されたものです。今後も皆さんと共に、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。



旭志小学校5年生の認知症サポーターの皆さん

## 2/9 一緒に学ぼう!一緒に楽しもう! 「水源小・迫水小・龍門小・菊池北小 四校合同交流学習会」

水源小学校・迫水小学校・龍門小学校・菊池北小学校の統合を平成25年4月に控え、交流と親睦を深めることを目的に、4校合同交流学習会が菊池北小学校で行われました。体育館で行われた全体会の歓迎セレモニーでは、菊池北小6年生が狂言を披露。その後同校5年生が育てた赤米の贈呈式が行われ、友情の証として各学校の児童へ贈られました。



菊池北小5年生より各学校の児童へ赤米が贈られました



交流授業で行われた4年生のタグラグビー

全体会終了後に行われた交流授業では、各学校の児童を学年別に分け、さまざまな授業が実施されました。2年生の図工では3Dめがねで遊び、3年生の音楽の授業ではリズム遊びで体を動かしながら「やまねこバンガロー」を合唱。6年生は認知症について学び、グラウンドでは4年生がタグラグビーで汗を流すなど、4校の児童が授業をとおして交流を深めました。



2/24 ~ 26 市民交流団と区長会が遠野市を訪問

市民交流団と菊池市区長協議会の計 18 人が友好都市である岩手県遠野市を訪問しました。今回は例年になく大雪で、九州では味わうことのできない“北国の冬”を体験することができました。

一行は、東日本大震災での後方支援活動状況の研修や、沿岸被災地を視察。また、「遠野ファンタジー」観劇や、「遠野ふるさと村」で伝統の語りと舞を見学したほか、遠野市民から郷土料理やどぶろくのもてなしを受け、心温まる交流となりました。



1\_ 本田敏秋遠野市長（写真右）を表敬訪問 / 2\_ 伝統の舞の迫力に圧倒 / 3\_ 雪に埋もれながら遠野ふるさと村を散策

2/26 英語で伝えよう! 小学校英語活動発表会

小学生英語活動発表会は、菊池市文化会館で開催され、市内 8 校の児童が英語でスピーチや合唱などを行いました。この発表会は、菊池ロータリークラブ（坂本 泉会長）が創立 40 周年記念事業として開催。英語で伝える喜びと楽しさ、そして英語学習への意欲を高めて貰おうと実施しました。数学者で大道芸人でもあるハンガリー出身のピーター・フランクさんの講演もあり、「英語の発音やアクセントは小学生のうちに学習して欲しい」と話しました。



市内小学校の児童が英語でさまざまな発表を行いました

2/26 第22回菊池市民駅伝大会

第 22 回菊池市民駅伝大会は、菊池市営中央グラウンドをスタート・ゴールに、全 8 区間 20.2km のコースで行われ、10 チームが参加しました。

上位の結果は次のとおりです。

▼一般の部

順位	チーム名	記録
1位	菊之池	1時間24分50秒
2位	花房	1時間26分52秒
3位	水源	1時間35分17秒



スタート直後の 1 区の選手たち

2/22 「万句のふるさと菊池」表彰式

第 6 回「万句のふるさと菊池」の表彰式は、七城公民館で行われ、参加した 20 人の児童・生徒に表彰状と記念品が贈られました。今回の募集には、俳句 16,833 句、短歌 1,509 首、合計 18,342 と県内外からたくさんの作品が寄せられ、その中から 30 作品が最優秀賞に選ばれました。

受賞作品には「震災の今年の秋も鮭上る」（岩手県遠野小学校 5 年：新沼翔吾くん）など東日本大震災を詠んだものもありました。



俳句の部（小学校低学年）で最優秀賞を受賞した隈府小 3 年の新沼翔吾くん

2/24 NTTグループが「電話お願い手帳」などを寄贈

NTT グループより、「電話お願い手帳」や「ふれあい速達便（ファクシミリ送信用紙）」が本市に寄贈されました。これらは、耳や言葉が不自由な人が電話などをかける際に利用することで、相手との意思疎通が可能となり、日常生活の利便性が向上することを目的としたものです。これらの手帳を近くの人に見せることで、代わりに緊急連絡やメッセージを伝えてもらったり、電話の故障やサービスの問い合わせなど、NTT への連絡に利用できます。



NTT グループより福村市長へ贈呈されました

2/21 菊池の味を全国へ「きくち自慢市」

本市の農林畜産物や加工品を展示し、県内外のバイヤーとの情報交換、都市圏への販路拡大や知名度アップを目的とした商談会「きくち自慢市」が、市内のホテルで開催されました。地元からは物産館や JA など 19 組が出展。七城の米、えこめ牛、シイタケや茶などが会場に並べられ、大勢のバイヤーと商談が行われました。参加したバイヤーは、「菊池の特産品は魅力的で全国に通用する」。今回の商談会をとおしていくつかの取り引きが成立しました。



商談会で菊池の特産品と加工品を PR しました

2/22 第1回菊池市消費者被害防止ネットワーク会議

消費者被害から市民の皆さんを守り、安心安全な生活を送ることを目的に、第 1 回菊池市消費者被害防止ネットワーク会議が菊池市福祉会館で開催されました。会議では、消費者問題の現状やネットワークの役割に加え、昨年 4 月に開設された菊池市消費者センターでの相談状況や相談事例について報告がありました。今後は、ネットワークで連携を図り、情報を共有することで、市民の皆さんを見守る活動を行っていきます。



会議には地域団体、PTA、警察、医師会、行政機関や消費者団体など計 27 団体が参加しました



優勝チームの顔と声



ドッチビー  
泗水 Great ボーイズ&ガールズ

予定どおりの優勝です。



カローリング  
隈府3区

チームワークの良さを  
勝ちました。



ミニバレー (45歳未満)  
深川A

日頃の練習の成果を  
出せて良かったです。



ミニバレー (45歳以上)  
竜王会A

いつものとおり、  
楽しかったです。

昨年、ねりんピックが熊本で開催され、全国からたくさんの方が集われた。そのほとんどの人が、年齢を感じさせず、若々しくて生き生きとされていた。自分もそのパワーをいただき、さらにスポーツに親しみ、楽しみにがら続けていきたいと思う。  
(A・Y)

2月12日(日)総合体育館で第7回市民スポレク祭を開催しました。昨年も行ったドッチビー、カローリングに加え、今年は初めてミニバレーを行いました。ミニバレーは馴染みがあるせいか、たくさんの方が参加し、大いに盛り上がりました。ドッチビーとカローリングも熱戦が繰り広げられたのですが、終わる時刻が違いすぎて、参加していた子どもたちが閉会式を待ちくたびていたことが反省点だと感じました。ニュースポーツなどを体験し

てもらおうの良いのではないかと思います。



カローリング



ドッチビー

スポレク祭開催

No.19  
スポーツ推進委員による  
「エンビョウスポーツ」  
問い合わせ先  
菊池市  
スポーツ推進委員  
協議会広報部  
☎0968(25)7234

九州地区スポーツ推進委員  
研究大会に参加して

1月21日・22日に福岡国際会議場にて行われ、2千人を超える委員が参加しました。大会が始まり、まず福岡県の委員による「創作炭坑節」や「山笠」の迫力のあるアトラクションがありました。次は表彰式。各県の受賞者が名前を呼ばれステージに上がると、地元委員から「おめでとう」の声が上がりました。本日から、藤江前会長が表彰されました。

表彰

九州大会以外でも次の皆さんが表彰されました。  
(敬称略)  
山本幸子委員(勤続30年)  
藤江康博前会長(県功労者)  
森田精一前県理事(同右)

タイトル変更

「体育指導委員」から「スポーツ推進委員」と呼び名が変わったのに合わせ、今回から「エンジョイスポーツ」に変更することになりました。名前は変わっても、変わらずご愛読をお願いします。

委員のつばやき

子どものころから体を動かすのが好きで、いろんなスポーツに親しんできました。下手の横好きで、何をやってもうまくはならず、現在に至っている。



大会に参加した本市の委員

2/28

泗水中学校立志式で  
MICAさんがコンサート

泗水中学校で行われた2年生の立志式で、本市在住のシンガーソングライターMICAさんのコンサートがありました。

MICAさんは、歌をとおして生徒たちにメッセージを送り、全身を使ったパフォーマンスで会場を盛り上げました。参加した生徒は、「とても楽しかったです。最高の思い出ができました」と喜びを語りました。



ステージでMICAさんと一緒に楽器を演奏する生徒たち

3月

コミュニティ助成事業で  
公民館を建設

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、コミュニティ活動の中心となる稗方区の公民館が建設されました。

このコミュニティ助成事業は、社会貢献広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成決定を行うもので、今後、稗方区のますますの活性化が期待されます。



イメージキャラクターの「クーちゃん」



コミュニティ助成事業で建設された稗方公民館

2/27

このみや踊り

約560年前から玉祥寺に伝わる市無形民俗文化財の「このみや踊り」が、春日神社で奉納されました。この踊りは、五穀豊穡と子孫繁栄を願う踊りで、どてらに編笠をかぶり縦杵を背負った御大将の前で、女装した二人の男性が掛け声に合わせて舞を披露します。舞手は毎年交代の輪番制。本年は三牧司佳さんと松岡靖成さんが踊りました。息の合った踊りを見せた二人は、「完璧ではありませんが、うまく踊れたと思います」と笑顔を見せました。



「このみや踊り」を披露した三牧さん(右)と松岡さん(左)

3/1

泗水中学校の生徒が孔子の里で  
箏の演奏会を実施

泗水中学校の生徒6人が、介護老人保健施設孔子の里を慰問し、箏の演奏を披露しました。この演奏会は、選択教科で音楽を選択している生徒が毎年行ってきたものです。

来年度より中学校の教育課程のカリキュラム変更で、長年続けられてきた同施設への慰問も今回が最後となりました。「さくらさくら」、「荒城の月」、「うれしいひな祭り」の3曲が演奏されると、利用者や職員らは、箏の美しい音色に聴き入っていました。



最後の演奏会で、箏を演奏する泗水中の生徒たち